

佐藤佳代子

(陸上競技・青年女子)

日本が認めた その才能

昨年の秋田大会では、惜しくも銀メダルに終わったものの、全国にその名を知らしめた“佐藤佳代子”日本代表コーチも目を付けたその**才能**が、今年**は爆発するか！**?大分の新女王に今年のおおいた大会にかける意気込みを**インタビュー**

（全国障害者スポーツ大会出場選手が集まった7月15日の合同練習会で、汗を流した後の佐藤選手にインタビューしました）

2大会連続出場、おめでとうございます。

○ありがとうございます。

が、今年大会は銀メダルでした。が、今年大会の目標を教えてください。

○1000m走で13秒前半。というか金メダルです。この前の県体で、自己ベストを更新して、14秒18だったのです。

陸上競技を始めたきっかけはなんですか。

○きつかけですか。：「コロナで住んで須藤さん（職員で監督）から「走ってみらんかえ」と声をかけられたから、走っています。

か。今は、どの位練習をしていますか。

○ほぼ毎日。仕事が終わってから、竹田市のグラウンドなどで走っています。

す。大変ですね。陸上は楽しいですか。

○そうですね。でも、遊びたい気持ちもあります（笑）だいたい、須藤監督が熱血指導してくれているので、私も陸上で頑張れます。

り。かなり体が締まってきたと、走り方もすごく格好良くなりましたよ。

○でしょ。練習もしてまずし、仕事（農作業）も大変だし。見て（といつて足を見せる）

すごい筋肉ですね。

○でしょ。筋肉が2つあるんですよ。

今後の夢を教えてください。

○あまり考えてないですが、国際大会に出たいですね。

なるほど、夢は世界ですね。

○そうですね。そのためにもまず、13秒台ですね。

是非、頑張ってください。

（今現在、伸び盛りの彼女。昨年（今年）に比べ、タイムもぐっと上がっており、13秒台も実現できるとは、彼女との両立の中、練習もはつきりかなりなす彼女。大分大会では、彼女の走りから目が離せない！）

